

信州・健康エコ住宅（仮称）について（案）

R2. 7. 13 建設部建築住宅課

1 信州・健康エコ住宅が目指すもの

- ・ 2050年までに、県内の全ての住宅で、住戸単位で、年間エネルギーベースでゼロエネルギーの実現
- ・ 信州の気候風土や恵まれた自然環境、森林資源を活かし、健康的で快適な住環境を提供する、地域の工務店による、信州らしい住まいづくりの推進

2 信州・健康エコ住宅の前提

① 信州の気候風土を考慮するとともに、それを活かしたものであること

- ・ 恵まれた年間日射量（主に A4、A5 区分）
- ・ 恵まれた自然環境（日射、通風など、設計の工夫）
- ・ 豊かな森林資源（県産材やバイオマスの活用促進）
- ・ 酷暑（夏対策も重要）

② 住み心地と経済性（費用対効果）の追求

エネルギー削減に向け、手法をバランスよく用いること

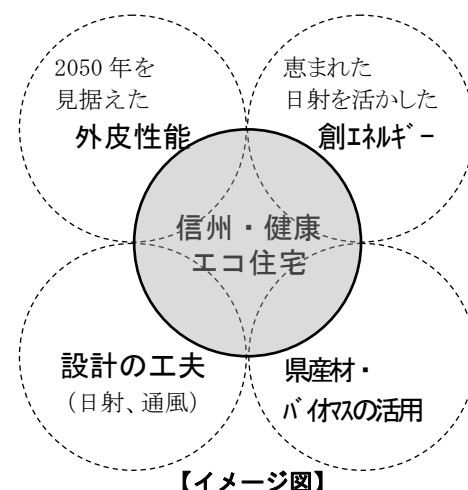
- ・ 外皮性能（断熱性能）、設備の高効率化
- ・ 創エネルギー
- ・ 設計の工夫（自立循環型住宅設計）
- ・ バイオマス（カーボンフリー） 等

③ 在来木造住宅での普及

- ・ 地域の中小工務店による確実な施工（メインターゲット）
- ・ 出来るだけわかりやすい仕様（断熱仕様の例示等）

④ 国の制度との整合

建築物省エネ法との整合 等



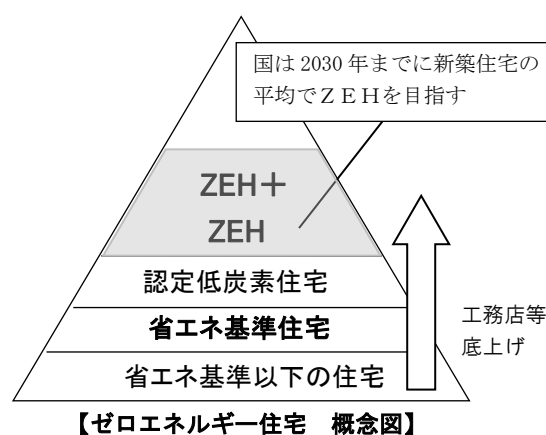
3 外皮性能基準の考え方（ U_A 値）

現行の省エネ基準を上回る基準を検討※1

基準 ※2	地域区分			
	2	3	4	5
ZEH+ (更なる外皮強化)	0.30	0.40		
ZEH	0.40	0.50	0.60	
省エネ基準 (建築物省エネ法)	0.46	0.56	0.75	0.87

※1 将来の技術進展等を踏まえ、10年後を目途に見直しを検討

※2 参考となる国の支援事業の数値（ZEH、ZEH+）



【信州・健康エコ住宅（仮称）の普及に向けて考えられる施策案（ゼロカーボン推進室）】

1 環境エネルギー性能の高い住宅に対する支援

建築物省エネ法における省エネ基準を大きく上回る性能を持つ住宅への補助
（性能等に応じて段階的に上乘せできる仕組みの導入を検討）

2 長野県地球温暖化対策条例の改正

- 2050 年ゼロカーボンを実現するため、県民、事業者及び県が一丸となって目指すべき方向性を共有し、取り組む必要がある。
- 「信州・健康エコ住宅」の建築を促進するため、住宅の環境エネルギー性能及び自然エネルギー導入検討の実態を把握する必要がある。

次期戦略への記載案（分野別施策の検討資料 番号 11, 62, 69, 70, 74）

- ・建築物の環境エネルギー性能（BEI など）を客観的に評価できる指標に基づき、建築主が建築時に省エネルギー性能を検討し、より省エネルギーに配慮した建築物を促す制度である「建築物環境エネルギー性能検討制度」における届出対象規模引き下げを検討する。
- ・建築時に、建築主が自然エネルギー設備の導入を検討するに当たって、設計・建築事業者が自然エネルギー導入の可能性を説明し、その導入を促す制度である「自然エネルギー導入検討制度」における届出対象規模引き下げを検討する。

3 事業者の公表

事業者が任意で届け出た C 値の実測値等を県の HP や広報誌で公表するなどの仕組みを設け、意欲的な事業者を支援

（参考）外皮基準のレベルのイメージ

